

新型コロナウイルス感染症対策の観点からの 年末年始の在り方について (内閣官房からの経済界への協力要請)

10月23日、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室から日本商工会議所に対し「新型コロナウイルス感染症対策の観点からの年末年始の在り方について」の協力要請がありました。

事業者の皆様におかれましては、以下の政府からの協力要請の趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【協力要請本文】

[新型コロナウイルス感染症対策の観点からの年末年始の在り方について](#)

1. 多くの人が連続した休暇を取ることが予想される年末年始に向けて

- ・集中しがちな休暇を分散させるために、年末年始の休暇に加えて、その前後でまとまった休暇の取得を奨励すること

2. 感染リスクを高めやすい「5つの場面」や、クラスターの発生が多く見られている飲酒を伴う会食における感染リスク低減の工夫をまとめた「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」についての周知

<感染リスクが高まる「5つの場面」>

- 【場面1】 飲酒を伴う懇親会等
- 【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食
- 【場面3】 マスクなしでの会話
- 【場面4】 狭い空間での共同生活
- 【場面5】 居場所の切り替わり

<感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫>

【利用者】

- ・ 飲酒をするのであれば、
 - ① 少人数・短時間で、
 - ② なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③ 深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で

- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
- ・会話する時はなるべくマスク着用。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

【お店】

- ・お店はガイドラインの遵守を。
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける